

もろもろの悩みも消ゆる、雪の風  
愕然と夢の醒むれば、大蛾（おおが）かな

壁の上にちつと動かぬ蠅のごと我れも命を此処に、終るか

蝶とぶや誰が雀に、投げた飯  
死に別れ生き別れつつ、飛ぶ雁（がん）かな

また誰か狂いゆくらし、黒がねの窓の吹雪のひと日、ひと日を

冬からす  
白く日の照る、冬木立  
うしろは汚れた、雲の幕  
からすがカアカア、カアカア、カアカア、カアカア  
啼いて行く

寂しさを敲き（たたき）にくるや、窓霰（まどあられ）  
水洩や冷々として、骨を滴る（したたる）

欠伸より湧きいでにたる一滴の涙よ頬に春を、輝け、輝け

冬からす  
白く日の照る、冬木立  
うしろは汚れた、雲の幕  
からすがばらばら、ばらばら、ばらばら、ばらばら  
飛んで行く

ばらばら、ばらばら、ばらばら  
飛んで行く  
ばらばら、ばらばら、ばらばら  
飛んで行く

壁の上にちつと動かぬ蠅のごと我れも命を此処に、終るか